

迅速な災害対応

ドローン・モビリティによる対応



「2024年、被災地で活躍するドローン。ホバーバイクによる救助、無人救急ドローン、緊急物資輸送や自動被害調査」 Illustration by yamakitakumi



DRONE
FUND

海洋汚染対策

ドローン・ロボットによる海洋・海岸の掃除



Leave a Nest

KOBASHI

ACSL



**DRONE
FUND**

「2025年、日本の企業によるハワイの海洋ゴミを減らすプロジェクト」 Illustration by yamakitakumi

投資先の知財戦略支援

投資先の知財戦略支援、グループ全体の知財ポートフォリオ構築のためのFUND直轄企業を設立。

DRONE IP LABの3つの特徴

1

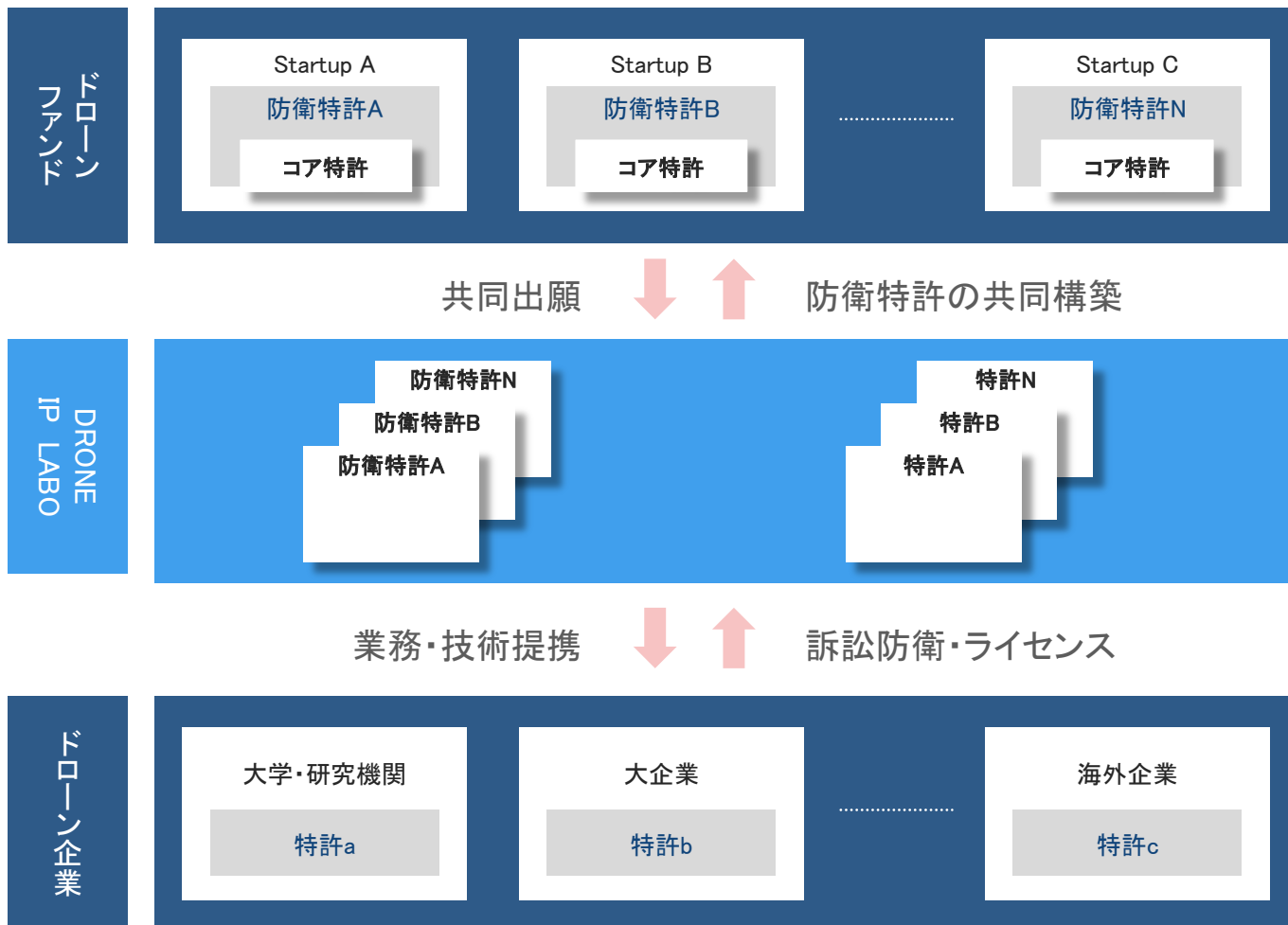
ドローン前提社会に向けた
国産ドローン産業の育成と発展を
知財から支援することを理念とする

2

DRONE FUND投資先の知財戦略支援と
共同発明・共同出願を活用した
知財ポートフォリオマネジメント

3

DRONE FUNDグループ全体の知財
アンブレラを構築するための
DRONE FUND直轄の企業



Public Policy

公共政策

ドローン産業の成長を加速させるためにDroneFundはルール形成や基礎戦略について公共政策部門を編成し提言活動を行っています。

「空の移動革命に向けた官民協議会」を設立します

“空飛ぶクルマ”の実現に向け、共同でロードマップを作成

2018年8月24日

▶ものづくり/情報/流通・サービス

経済産業省は、国土交通省と合同で、日本における“空飛ぶクルマ”の実現に向けて、官民の関係者が一堂に会する「空の移動革命に向けた官民協議会」を設立し、その第1回会合を平成30年8月29日に開催します。

1. 背景・趣旨

世界では、ベンチャー企業から大企業まで様々なプレイヤーが、人を乗せて移動できる「空飛ぶクルマ」のプロジェクトを立ち上げ、研究開発や実証事業を推進しています。

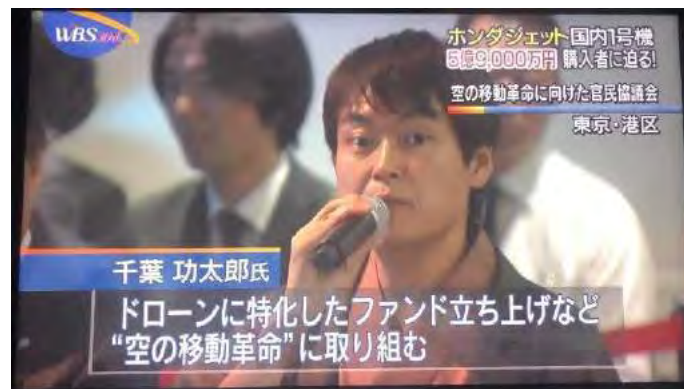
日本においても、自動車や航空機の業界などの有志が集まる団体や、ドローンなどのベンチャー企業、投資ファンドなどの様々な分野の関係者が、都市の渋滞を避けた通勤、通学や通商、観光や山登りでの新しい移動手段、災害時の緊急搬送や迅速な物資輸送などの構想を描いて、「空飛ぶクルマ」の研究開発を進めています。

こうした構想を具体化し、日本における新しいサービスとして発展させていくためには、「民」の将来構想や技術開発の意思をベースに、「官」が、既製の取組みを速時適切に実施し、社会に浸透されるルール作りなどを緊急的に進めていくことが重要です。こうした取組みをロードマップに反映し、官民の歩調をそろえつつ、空飛ぶクルマの実現を促進していきます。

我が国において構想・研究開発が進められている“空飛ぶクルマ”の一例



※以下にて、第1回会合で発表を行う各社が構想・研究開発を進める“空飛ぶクルマ”の例を紹介。



官民協議会で、空のモビリティ連携についてプレゼンテーションを実施。



自民党本部の勉強会で講師を行う千葉、高橋、ALI小松代表

Drone Fundイラストが「空の産業革命に向けた官民協議会」のリーストップに採用

千葉道場 Chiba Dojo

Start-ups CEO,CxO Community

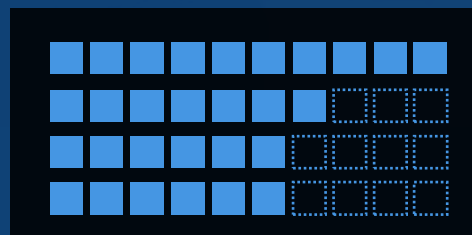
「Catch The Star」

まだ見ぬ幸せな未来を創造し、
テクノロジーで世界の課題を解決する。

完全秘密厳守の徹底の元、投資先起業家の圧倒的成長と相互助け合いを目的とした、強い結束力を持つ起業家コミュニティ。半年に1回開催される1泊2日の「千葉道場合宿」を軸に、ネット業界著名人「尾原和啓」氏と千葉道場がタイアップしての毎月の個別起業家メンタリング等、起業家にとって本当に必要なものを横串で応援していく、大プラットフォームです。



千葉道場 全体会
54+Internet Start-ups



千葉道場 ドローン部
同形式で特化運営

29+
Drone
Start-ups



連携



CxO合宿

経営者研修と
コミュニティ作り

月次開催勉強会

社員も参加できる
専門テーマ

Facebook
コミュニティ

いつでも誰でも
気軽に相談

定期経営者
メンター

尾原氏、千葉氏
メンタリング